

2026 年 7 月 28 日
古河機械金属株式会社

ロックドリル部門：「第 8 回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2026)」に出展 ～ロックドリル製品を展示し、おおよそ 3500 人が来場～

当社（社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（東京都千代田区、社長：北川 隆行）は、このたび、千葉県幕張メッセにて開催された建設・測量業界国内最大級の専門展示会の「第 8 回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2026)」に出展しました。期間中のブース来場者数の合計は、昨年を大幅に上回るおおよそ 3500 人となりました。ご来場いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。



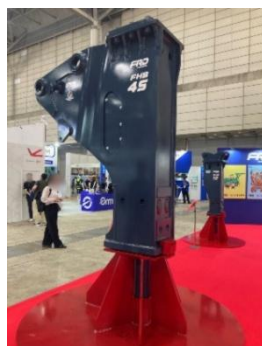
ブース全景

ロックドリル製品ブース



超大型・超低騒音油圧ブレイカ

『Fxj1070a』



13 年ぶりにフルモデルチェンジした
大型油圧ブレイカ『FHB シリーズ』



大割用油圧圧砕機『Vx75 II』



小割用油圧圧砕機

『Vs22-V (Φ600 フレームマグネット仕様)』



当社最大クラスとなる超・超大型油圧ブレイカ

『FHB』破壊王（参考出展）



新型油圧クローラドリル

『HCR D80-E5』

〈問い合わせ先〉

・ニュースリリースに関して
・展示会に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課 TEL：03-6636-9501
古河ロックドリル株式会社 営業企画部 TEL：03-6636-9522

屋内ブースでは、主力製品である超大型・超低騒音油圧ブレーカ『Fxfj1070a』、13年ぶりにフルモデルチェンジした大型油圧ブレーカ『FHB シリーズ』6機種、大割用油圧圧砕機『Vx75 II』、小割用油圧圧砕機『Vs22-V (Φ600 アクティブマグネット仕様、Φ600 フレームマグネット仕様)』を実機展示しました。また、参考出展として当社最大クラスとなる超・超大型油圧ブレーカ『FHB』破壊王（仮称）も展示いたしました。さらに F-MICAS※1 のパネル展示や、全自動ドリルジャンボのドリルシミュレーションを実演しました。

屋外ブースでは、新型油圧クローラドリル『HCR D80-E5』の展示を行い、稼働サポートシステム『F-MICAS※1』も含めたプレゼンテーション全4回/日を実施しました。

※1：F-MICASとはFRD Machine Information Control & Analysis Systemの略称で、ブラストホールドリルおよび油圧ブレーカの稼働サポートシステムです。土木施工現場における省力化・効率化の実現性が評価され、国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）に登録されています。

■展示機種について

『Fxfj1070a』：強大な打撃力と低騒音構造を持ち合わせており、硬い岩石や基礎コンクリートを破碎する作業環境に配慮した油圧ブレーカです。

『FHB シリーズ』：高破碎性・高耐久性を追求し、内部効率改善により打撃力と燃費性能を向上した油圧ブレーカで、新開発のピストンストローク調整機能（QSV 及び SSS）により最適な破碎作業を実現しました。

『Vx75 II』：高出力2本シリンダ方式による強力な破碎力とクラス最大級の開口幅を備え、鉄筋カッター標準装備によりコンクリート解体から鉄筋切断まで対応する大割用油圧圧砕機です。

『Vs22-V』：強力な破碎力、軽量の機体、そして強力なマグネットを備えた「軽い・速い・強い」3拍子揃った使いやすい小割圧砕機です。

『HCR D80-E5』：高性能油圧ドリフトと自動制御 iDSⅢにより、せん孔の効率化と安定化を実現。環境対応エンジンと低燃費性能に加え、優れた操作性と安全性で、多様な現場の効率施工を支える次世代クローラドリルです。

もぐらけんせつ・お子様体験ブース



『もぐらけんせつ』ポスター展示



缶バッジ制作



パネルへのお絵かき

人気絵本「もぐらけんせつ」（作：長崎真悟 童心社刊）シリーズとのコラボレーション企画を実施しました。本企画は、同シリーズの世界観を通じて、トンネル工事や建設機械の魅力を幅広い来場者の皆さまに発信することを目的としたものです。

ブースでは、「もぐらけんせつ」シリーズに登場する建設機械のポスター展示を行うとともに、お子様向けの缶バッジ制作体験や塗り絵、シール配布を実施し、多くの来場者にお楽しみいただきました。

第8回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2026)

- ・開催日：2026年6月17日～20日
- ・会場：幕張メッセ（千葉県）
- ・概要：国際 建設・測量展とは、建設機械・重機、小型建機、測量機器、ICT 建設技術、ドローン、3D 計測機器、建設資材など、建設・測量分野の最新技術や製品、サービスが一堂に集結する展示会です。近年は1年に一度、千葉県で開催されています。主催社の発表によると、今年は6.2万人以上が来場されました。

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 4 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニツク部門、アーステクニカ部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：明治 8 年（1875 年）8 月

設立：大正 7 年（1918 年）4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,889 人 〈単独〉207 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：北川 隆行

事業内容：1914 年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961（昭和 36）年 6 月

資本金：4 億円

従業員数：535 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawarockdrill.co.jp/>



強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。